

※「ボランティア」とはポルトガル語の舵取りという言葉から、学生の皆さんのボランティア活動と社会を繋ぐ役を果たしたいという意味が込められています。



## 高齢者向けLINE講習会ボランティア

### 3月の事前勉強会で概要を共有 → 4月16日 LINE講習会ボランティアに参加

コロナ禍で対面の交流を行う事が難しくなり、オンラインでの交流が活発化しています。高齢者の方々も、オンラインでの交流ができれば、家族や友人との連絡はもちろん、日頃の見守りや災害時などの安否確認にも役立つはずです。

そんな中、千代田区社会福祉協議会のご協力のもと、孫世代である学生が、LINE使用時の小さな疑問に答えながら、大学のある千代田区の高齢者の方々との交流できる機会が生まれました。

3月の事前勉強会にてこの活動のきっかけや主旨を理解した後、実際に富士見2丁目で開催されたLINE講習会(4月16日開催)に、本学学生がボランティアとして参加しました。

### 【事前勉強会 3月22日・23日(計17名参加)】

千代田区社会福祉協議会地域支援課 佐藤悠一氏から、LINE講習会を企画するきっかけとなったアンケート調査結果や、コロナ禍で表出した高齢者の課題などについてお話いただきました。

#### ▼事前勉強会当日のスライドより(抜粋)

#### コロナで表出した高齢者の課題

- (1)見守りが減ることで、ちょっとした異変の発見が遅れる
- (2)高齢の方々の引きこもり、孤立化
- (3)ボランティア活動の制限によるモチベーションの低下
- (4)高齢者等の体力低下(フレイル)
- (5)児童や障害者の精神不安、生活リズムの崩れ
- (6)DVや虐待(介護者等のストレスによる)
- (7)失業や倒産により、追いつめられている方々の増加

#### コロナで分断される地域

- (1)三密を避けなさい
- (2)高齢の方々が感染すると重篤化してしまう
- (3)ソーシャルディスタンス

>> 緊急事態宣言で外出自粛へ

#### オンラインの重要性の高まり

実は高齢者の多くはスマホを持っている。

##### 【課題】

- ・使い方がわからない。
- ・家族や孫が設定してそのまま  
>教えてくれる人がいない。
- ・携帯操作は携帯会社は教えてくれるが、LINEなどSNSは教えてもらえない。

高齢者のスマホのコミュニケーションツールの活用は、コロナの影響で一気にその必要性、緊急性ともに大きく高まりました。しかし密を避け、対面でのボランティア活動などが難しい中、今回上智大学様のご協力のもと、教える学生さんは自宅から・講座を受ける高齢者は会場でオンライン受講とし、会場では参加者が互いに少々のスマホ操作のサポートをし合いながら、ハイブリッド型の交流スマホ講座を試行することができました。コロナ禍における大きく、新しい交流の一步になりました。今後とも是非学生の皆様のご協力をよろしくお願いいたします！

千代田区社会福祉協議会 地域支援課 佐藤悠一氏より

### 【富士見2丁目LINE講習会 4月16日】

当日、富士見2丁目の会場には講習会の運営をお手伝いしてくれる理学療法士の先生や、高齢者のリハビリなどを研修中の学生さんもうらっしゃいました。和気あいあいとしたチームワークで、Zoom越しの本学のボランティア学生と会話をしてくださいました。

今回の経験で、高齢者の方々は、文字を打つよりもスタンプの活用の方がずっと便利であるという発見もありました！



▼Zoom上、画面の向こうにいる学生ボランティアにスマホの画面を見せながら質問を投げかけてくださる様子。



#### ▼参加した学生の感想

ご高齢の方々へのボランティアという新しい活動に参加させていただき、とても新鮮な気持ちでした。ありがとうございました！コロナ禍の中でも、少しでもできることはないかと思い、この取り組みに出会いました。祖父母と一緒に住む中での気づき、そして何よりも、講座を通しての交流の時間を大切に、一緒に楽しみながら活動していければと思っています。次回もよろしくお願いいたします！  
山内 日名汰 (理工学部情報理工学科 4年)

今回はLINE講習会へ参加する貴重な機会を頂き、誠にありがとうございました。このような状況でなければ、オンラインではなく、直接お会いし、もっと分かりやすくLINEの操作方法をお伝えできたかもしれません。そのため次回は今回の反省点を活かし、皆さんがLINEを楽しめるきっかけを作りたいです。  
藤田 知世 (総合人間科学部看護学科 4年)

和気藹々とした雰囲気の中で取り組めたので、非常に楽しかったです。年齢の離れた方々にオンラインでLINEの使い方を伝えるという難しい状況に苦労した場面も多々ありましたが、お互いに歩み寄り、寄り添うことで充実した時間を過ごすことができたと感じております。教える立場であるはずのこちら側も学ぶことが多く、非常に有意義かつ楽しい時間を過ごすことができました。  
片山 郁子 (文学部フランス文学科 4年)

**素敵な機会を提供して下さった千代田区社会福祉協議会の皆様、初の試みに参加してくれた学生の皆さん、ありがとうございました！**

#### 現在募集中です！

・2021年度「南三陸リモート企画プロジェクトチーム」参加者募集 **5月28日まで**  
Loyola掲示板 詳細検索は「南三陸」

・2021年度「上智大学復興支援活動助成金(企画応募型)」申請 **5月31日まで**  
Loyola掲示板 詳細検索は「復興支援」 \*1企画につき50万円まで助成金の申請ができます

※春学期手話講座はオンラインにて8月3日~5日開催予定。詳細が決まり次第、Loyolaに掲示します。